

## 学習教材に対する3年生の意識についての一考察

村上真理\*

### A study on third graders' interest in learning materials

MURAKAMI Mari\*

**Abstract:** It is customary for third grade students to use textbooks which are designed for college students and are usually edited in accordance with one main theme, such as SDG's, general science and intercultural contacts. It has given me a hard time to decide the main theme, suitable for all third graders. Then, I adopted a reading exercise book designed for third grade students in the general course of the high school, which deals with various genres. And at the end of the school year I conducted a questionnaire survey on students' interest in the genres the book dealt with, which I thought must have been a guide to decide the theme of the book. Third graders are also to review grammar independently with a designated exercise book. I also verified whether the book in use was suitable for them. This paper introduces the result of the survey.

**Key Words:** third graders' textbook, students' interest in genres

#### 1. はじめに

本校の3年生の英語指導には検定教科書を用いず大学生向けの総合英語テキストを大方用いてきている。具体的には「異文化理解」や「科学技術の英語」や「国際情勢」といった1つのテーマを持って編集されたもので、学習者はテーマに関連する英文を読んだ後に概要把握の演習問題、テーマに関連する知識を深める演習問題やそれに関するダイアログや英文作成を行う形態が一般的であり、基礎的文法の復習が用意されていることが多い。

こういったテキストには年間を通じてテーマに意識を向けさせることができるという利点がある。また演習問題には発信力や表現力を高める指導ができると感じる。しかしながら、低学年時の検定教科書を用いた授業に比べて演習問題に時間が多く配分されるせいか、それまで養われた英文の読み方が置き去りにされているように感じる。例えば指示代名詞が指すものを把握して各文が正確に訳せたうえで、その文が云わんとしていることを確認するという作業がなおざりになっているといったことである。

また大学生向けの教材は先に述べたように1つのテーマを持ったものが多く、英文のレベルは適当であっても、テーマに関心を持たない学生には、英文を読む意欲が湧かず読む力が育まれないのではないのではないかと案じる。実際のところ教材選びにはこの点に頭を悩まされてきた。

そこで思いついたことは、当然かもしれないが3年次では大学生用の教材ではなく、検定教科書のように普通高校3年生を対象に編集された総合英語教材を用いたほうが学生にも取り組みやすいのではないかとということである。

この発想の試みとして、高校3年生向けに長文読解力を養うことを目的に編纂された『英語総合問題集 TREASURE HUNT New Edition 4』と『英語総合問題集 TREASURE HUNT New Edition 5』を採用した。こちらは各章に様々なジャンルの英文が扱われている。

また3年生には文法問題集を指定して自主的に復習させて定期的に小テストを実施している。この問題集は2年間用いる。そして学生の取り組み状況によって2、3年ごとに変更をしている。この数年は近隣の高校と同じ問題集を用いて、出版社から知り得た他校の先生方の感想と本校生の小テストの様子により変更している。この英文法復習の副教材の取り組みにおいては、学生があまり解説に目を通していないために、語彙やあわせて覚えたい表現が増やせていない感じが感じられ、授業中に一緒に目を通す時間を設けたりすることがあったことから、自学に使いこなせる教材を検討する必要があると感じていた。そこでこの度それまで使ってきた『Vintage』から『Engage New edition』に変更することとした。その理由は採用見本に「学習者の視点に立った解説」とあるように解説の読みやすさを強調していることである。いずれも同じ出版社のものであり構成も似たものになっているが、『Vintage』よりも発展問題が少なくページ数も減り、問題もやや易しい。

\*教養科 Division of Liberal Arts

また最終章には「英作文のストラテジー」が付いている。本校では4年次の英語授業でパラグラフライティングの指導を深めるため、次年度にも文法知識の定着を計りながら作文力を高めるために、この章は好都合であると考えたことも採用理由の一つである。

さて本稿の趣旨であるが、先に教科書教材のテーマを決定することに苦慮してきたと述べた。そこで今の高専3年生にはどういった分野が取り組み易いのかを把握したい、また現在使っている英文法・語法のテキストの構成や問題の程度は適当であるかを確認したいと考えて学生にアンケートを実施した。そして82名から回答を得ている。本稿はそれらの結果を報告するものである。

## 2. 『TREASURE HUNT New Edition』のジャンル

今回用いた『TREASURE HUNT New Edition 4』と『TREASURE HUNT New Edition 5』の各ユニットが扱っているジャンルは次の通りである。

### 『TREASURE HUNT New Edition 4』

Unit 1 人物描写	Unit 2 物の歴史
Unit 3 古代文明	Unit 4 文化史
Unit 5 古代史	Unit 6 科学
Unit 7 広告	Unit 8 物語
Unit 9 行動心理	Unit 10 家族愛
Unit 11 文化史	Unit 12 物の歴史
Unit 13 論説	Unit 14 動物
Unit 15 論説	

### 『TREASURE HUNT New Edition 5』

Unit 1 事件	Unit 2 思想
Unit 3 生物	Unit 4 物語(速読)
Unit 5 経済	Unit 6 食文化
Unit 7 言語	Unit 8 論説
Unit 9 権利	Unit 10 人体
Unit 11 環境	Unit 12 科学
Unit 13 物語(速読)	Unit 14 文化
Unit 15 動物の生涯	

ただし前期は『TREASURE HUNT New Edition 4』をunit12まで、後期は『TREASURE HUNT New Edition 5』をunit4の速読とunit11を除いたunit12まで履修している。この2つのユニットを省略した理由は、速読に関しては解説が必要な表現法が他のユニットと同程度用いられていることから、速読という活動ができないあるいはさし

さわりなく理解できたという達成感が与えられないと想像したことであり、unit11については次のunit12の内容が学生に身近なものであり、また学年末も近く時間が限られていることから、自分の意見を英語で表現する活動に繋げる活動が容易にできそうなユニットを優先したことである。

## 3. アンケートの質問事項

アンケートは22のユニットを内容から①国際理解、②文明、文化史 ③科学、生物(人体)、環境問題 ④愛、家族愛 ⑤物や人物の紹介 ⑥論説、報道 ⑦行動心理の7つの分野に分類している。そして学習後に「新たな知識となった」とか「そうだったのか」と最も強く感じた分野をその7つから記号で選ばせている。

更に筆者が選んだ5つのユニットから「最も関心を持った、あるいは自分の行動を振り返る機会が与えられたと感じるもの」を選ばせている。この5つのユニットは学生生活や社会との関わりに関する話題を扱ったものである。ここでの結果から、学生に関りが深い話題の中でもどういった内容に学生が関心を持って、その後の活動に積極的になれるのかを知ることができると考えた。

## 4. 5つのユニットの概要

この5つのユニットは学生生活や社会との関りが深い内容であることから、これらを扱った授業では英語で自分の意見を表現する活動などに繋げている。そこで各ユニットがどういった内容であるかを紹介しておきたい。なおここにおける英文の題名は、ユニットに題名がついていないために筆者が便宜上つけたものである。

### 4.1 Advertisement control

自分の購買行動は広告に影響を受けたものではないだろうかと問いかける。広告は消費者の考えを支配する。具体的には、製品がもたらすマイナスの事象は伝えず、製品がいかに便利で役立つのかを伝え、製品を使うことが素晴らしい将来を約束するような単純で楽観的なイメージを与える。そこから読者には実際に広告に影響されて買った製品がどれほどあるかを振り返らせて、広告に支配されない賢い消費者になることを促している。

#### 4. 2 Procrastination

課題にやる気が出ない時間をどう過ごしているかを振り返らせて、すべきことの先延ばし行動には受動的な先延ばしと能動的な先延ばしがあること、そしてただなまけているだけの受動的な先延ばしは非生産的であるが、後者は夢中になれるものを見つけるきっかけになる生産的の行為であることを認識させている。そして先延ばしをしているときに何をどういった理由で選び取ったのかを考えることが大切であり、そこに人生がより生産的になり幸せになる可能性があるのだと述べている。

#### 4. 3 Basic-income movement

オックスフォード大学の「近い将来人間の仕事の約半分を機械に奪われる可能性がある」という研究報告に始まり、そこから政府がすべての国民に生活に困らないだけのお金を支給すべきとした「ベーシック・インカム」の考え、これを支持する運動団体の代表が政府の動きを待たず、ベーシック・インカムをクラウドファンディングし始めたこと、そしてドイツの大きなベーシック・インカム支持団体の資金援助の取り組みと、資金を受けた人々がどのように有意義な生き方を見出して人生の捉え方を変えていったかを紹介している。

#### 4. 4 Time famine

時間欠乏症の人はストレスを抱え、人生に満足しない傾向にあり、また金銭的に余裕のある人の方がこの状態に陥りやすく、金銭の所有はこの状態からの脱却に役に立たないようだとする。

そこで、他人にお金を寄付する人はしない人より裕福感を得るとする調査結果を知る研究グループが、同じことを時間に当てはめて調査したところ、自分の時間を寄付して他人のために何かをした人々は、その行為の相手や内容に関係なく時間的な裕福さの感覚が増したという調査結果を紹介している。

#### 4. 5 Being an adult

大人になるということはどういうことかがテーマである。大人になると様々な権利が得られるが権利の行使には責任が伴うことを述べている。

そして大人とみなされる年齢は国によって違うこと、また投票権を持つ年齢を下げるべきだという他国の主張や、

年齢制限のある法律をすべて廃止するべきだという意見などが紹介されている。しかしまた非常に若くしてすべての権利を与えられることは良いことだとすべての人が同意するわけではなく、それでは若すぎるとはどのくらいの年齢を指すのかと問いかけている。

#### 5. 読み物教材に関するアンケートの結果

7分野のうちでどれに関心を持って取り組んだかについての結果は次のとおりである。

①国際理解	14人
②文明、文化史	15人
③科学、生物、環境問題	23人
④愛、家族愛	10人
⑤物や人物の紹介	3人
⑥論説、報道	8人
⑦行動心理	9人

学生生活や社会とのかかわりを考えさせる5つのユニットについては次の通りである。ただしこの質問には残念ながら質問を読まずに回答した学生が多く、回答数は69である。

Procrastination	25人
Advertisement control	19人
Basic-income movement	14人
Time famine	7人
Being an adult	4人

#### 6. 副教材に対するアンケートの結果

つぎは英文法・語法の教材についてである。

アンケートでは1番目に各章の問題数が適当であるか、2番目に解答の解説の読み易さを含めた難易度はどうか、3番目に学習する際に解説を読んでいるか、またその場合はどの程度読んでいるかの3点を聞いている。

##### 6. 1 各章の問題数

各章の問題数に関しては次のとおりである。

とても多い	0 人
やや多い	27 人
適切	49 人
やや少ない	3 人
とても少ない	3 人

## 6. 2 問題の難易度

問題の難易度は次のとおりである。

難しい	3 人
やや難しい	14 人
適切	59 人
やや易しい	3 人
とても易しい	3 人

## 6. 3 解説に対する意識

問題を解いた時に解説を読んでいるかどうかは次のとおりである。

いつもしっかりと読んだ	5 人
いつも簡単にすべて目を通した	37 人
難しいと感じた問題の部分だけを読んだ	32 人
難易に関わらずほとんど読まなかった	5 人
文法知識が十分あるので読まなかった	1 人

## 7. 考察

読み物で最も関心の高かった分野は③の科学、生物、環境問題であった。ここで扱った英文内容は蚊に刺される人とそうでない人との違い、卵の各部分の働き、動植物を絶滅に追いやる人間の行動についてであり、題材が日常生活にかかわることであるうえ知識もややあることから読み易さも感じられて関心が高まったと想像される。

次に関心が高かった分野は②の文明や文化史である。③の分野に関心を示す学生数とに差はあるが、文明・文化史に関心を示していたとは想像しなかった。それは文明・文化史にはやや堅苦しいイメージがあり、関心を示していたのは少数であったようだと思っていたためである。しかしながら内容を振り返るとハロウィンの発祥と変遷、動物の家畜化の始まりと家畜動物の性質といったことで、文明・文化史といっても題材が身近な事からであり、それらがどのような変遷をたどって今日に至るのかといったこ

とは面白みもあり吸収しやすかったと思われる。

続いて学生生活にまつわる話題を扱った5つのユニットを見ていくと、Procrastination と Advertisement に関心が高いことが分かる。この結果はおおむね想像していた。

Procrastination については、一般に学習に積極的になれない時にほかのことに逃避しがちであり、またそういった自分を責めることもある。ここではそのようなときの自分自身の意識の在り方に肯定的で意味ある説明を与えられたと感じたのではないかと推測する。

Advertisement については、自分や周囲の人間の買い物の仕方を振り返り、それに納得したり自分に注意を促すような面白みがあったのではないかと感じる。

Being an adult にはもう少し関心が寄せられたと想像していたが、難しい問いを投げかけていることから関心よりも悩ましさが残ってしまったのではないだろうか。しかしこのユニットに関しては様々な権利を与えられていく若者の現実を考える時間を与えることが出来たことを思えば、取り上げた甲斐があると感じる。

また調査の目的はこれからの教材選びの参考のためにどの題材に関心が高かったのかを把握することであるが、同時にこういった教材を用いて、自分の考えを表現するといった活動に繋がられたことを覚えておきたいと思う。

次に関心の低かった分野を見ていくと、こちらは⑤の物や人物の紹介である。ここでの物とはガラス、そしてサッカーのワールドカップのトロフィーであり、人物はアメリカ人報道写真家である。内容はガラスはどのように発見されてどのように科学の進歩に貢献してきたか、トロフィー盗難の事件にはじまり現在のトロフィーは何処にあってどういった役目を担うまでになっていったか、世界大恐慌時における報道写真家の撮影した写真がどれほどに社会を変える影響力を持ったかといったことである。このトロフィーやガラスを題材にした英文内容は、しかし物の歴史という範疇に属すると思われる。それでは文化史すなわち文化的活動の歴史とのどこに関心の差を生むのであろうか。

そこで③の分野が一番関心が高かった理由にみられるように、それは題材が身近な事であったり日常話題に上がったり接する頻度が高いものや事象を扱っているかという点であり、概してこの点に関心を高めるのだと言えよう。

次に文法問題集に対する意識について見ていきたい。

問題数には 49 名が適切と回答している。「とても多い」と感じる学生はなく、また「少ない」「とても少ない」と感じる学生数も数名であることから学習意欲を失わせることもない十分な数だと思っていきたい。問題と解説の

難易度についても 59 名が適切と回答し、こちらも適当であるとみてよかろう。そして最後の質問の回答からは、ほとんどの学生が自分の判断で解説に目を通してることが分かる。ここには解説が読んで理解できるものであって、それ故復習に気持ちを向かせられると思われる。これらから少し定着が低いと思われた項目に、まずは解説を読むように促すことで対応できると想像される。しかし問題の程度が「難しい」と「やや難しい」と感じる学生もいる。そういった学生にはどのように難しいのか、苦手意識を持ってしまっているのかといったことを見極めて、意欲の向上を図る時間が必要だと感じる。

## 8. おわりに

本校3年生の英語教材には、英語知識に焦点を合わせた英文とアクティビティを取り入れた教材を探し出すことに難しさを感じてきた。教材の選定には今の学生の関心や積極性を引き出せる分野を把握することが大切である。それを参考に用意した教材は英語を読む力や使う力、そして考える力を伸ばし易いだろうと想像されるからである。今後の教材の選定には、こういった視点でテーマを絞り込んでから英語力と照らし合わせるという順序を覚えておきたい。

本校は教材も指導方針も年度ごと指導担当に委ねられることから、教科書選定においてはこの度の調査結果がわずかでも参考になれば幸いである。

### 参考文献

- [1] いいずな書店編集部編：TREASURE HUNT New Edition 4, いいずな書店, 2012
- [2] いいずな書店編集部編：TREASURE HUNT New Edition 5, いいずな書店, 2012
- [3] 篠田重晃, 米山達郎編著：Vintage 3<sup>rd</sup> Edition, いいずな書店, 2010
- [4] 大久保伊晨, 松田優編著：Engage New Edition, いいずな書店, 2015